

# 清流

題字：芳野 充

令和4年7月30日

第67号

発行所 加来不動産(株)

発行者 加来 寛

北九州市小倉南区守恒本町1-12-23

穏やかに

静かに

清流のように

## 自分を根気よく仕上げる

二十代のころのわたしは、相手によって態度を変え、場面によって良い人に映るように演じていました。特にそれは、仕事上で出ていました。お客様や仕事で知り合った人とプライベートで偶然出会うと、妙によるよその態度だったり、目が合っても気づいていないふりをして接触することを避けていました。

そのころのわたしは、「本当の自分がよく分からない」といつも地に足がついていない感覚を味わっていました。そんなときに、素心学塾塾長の池田繁美先生との出会いで、ワガママが一番出やすい家庭でのわたしが、本当のわたしの姿であることに気づかされました。

自分とちがう意見には高圧的な態度やきつい口調で攻める。自分のしたいことを何よりも優先させ、気乗りしないものには無関心。決めつけて物事を判断する。いつも楽なほうへ逃げる、など挙げればきりがありません。わたしのなかの、良い部分も未熟な部分もまとめて「わたしの個性」であり、それは変えようがないものだと思っていたので、どれが本当の自分か分からなくなっていたのだ、と今は理解できます。

「個性」とは、ほかの人とはちがう生まれもった資質のことで、大きく「才能」と「性格」のふたつからなると考えられる、とは池田繁美先生の言葉です。さらに「才能」と「性格」をこのように分けて考えられる、とも教えていただきました。

### A、才能

生まれつきのすぐれた能力：①身体的能力（足が速い、力が強いなど）②頭脳的能力（記憶力、分析力、計算力など）③技能的能力（絵や文章、歌がうまいなど）

### B、性格

生まれつきの気質：①よい性格（おだやか、やさしい、ねばり強い、几帳面、正義感が強いなど）②未熟な性格（短気、ずるい、気が弱い、だらしない、わがままなど）

もちろん今でも未熟な性格はわたしのなかで存在しています。しかし以前とちがうのは、未熟な性格を「才能」や生まれもった「良い性格」と混同せず、また「性格だからしょうがない」とあきらめるのではなく、改善する努力をおこなえるようになってきました。まだまだ道半ばではありますが、未完成な自分を根気よく仕上げていきます。

加来 寛

